

プレカット事業で省人化

合板加工機を増設

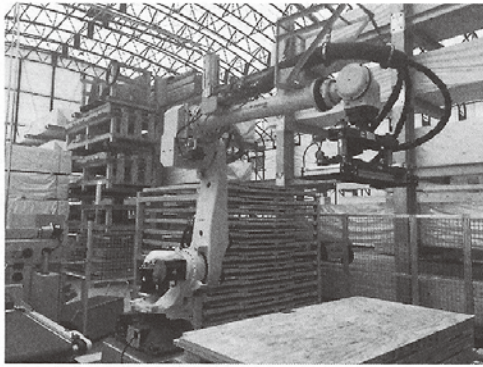
村上木材・プレテック

村上木材(大阪市、事業を展開している。佐原謙次社長)は、木材の輸入販売から住宅資材関連商品加工・販売、在来軸組プレカット、木造家屋の建築・施工・リフォームまで。

同社長)大阪工場にさが2階という制限が積み込めるなど、人の同社の強みで「大阪市は、柱加工機や横架材があるが、隅々まで加工手をほとんど必要とし内、狭小地3階建てで加工機のほか、羽柄材できて二度手間を防ぐないのが特徴だ。あれば、村上木材に」加工機や高速羽柄3次元切断機などを設備している。現在は2シフト24時間体制で、月間平均で約4000坪を加工している。

一方、同社は働き方改革としてプレカット加工事業での省人化を目的に、合板加工機などを増設した。11月には、新型合板加工機(MPD-14、宮川工機)と自動積み込み装置(Robot R-2000iC、フアナ務所登録によりプレカット部材加工のみならず、建て方や構造計算まで一貫したサービスを提供する体制を構築した。

これにより、プレテックの合板加工機は1基増えて3基体制となり、加工量も1.5倍になるが、合板加工にかかわる人員は2人体制のままで対応できる。また、新設備の合板加工機は、合板の長さ



新型合板加工機に併設された自動積み込み装置(Robot R-2000iC、フアナック)

また、差別化を図るため、(MPD-14、宮川工機)と自動積み込み装置(Robot R-2000iC、フアナ務所登録によりプレカット部材加工のみならず、建て方や構造計算まで一貫したサービスを提供する体制を構築した。

これにより、プレテックの合板加工機は1基増えて3基体制となり、加工量も1.5倍になるが、合板加工にかかわる人員は2人体制のままで対応できる。また、新設備の合板加工機は、合板の長さ